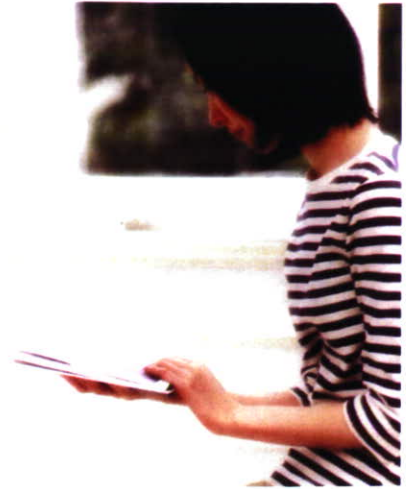


1. 検査コーディネーターの心得



はじめに

これから、みなさんにお手伝いをさせていただく性器クラミジア郵送検査キットの配布は、若者の間でどれくらい特定の性感染症が広がっているかを調べるための、厚生労働省のもとで実施されている調査・研究の一環です。この調査・研究は、若者の健康を蝕む無症候の性感染症感染を社会的に早期発見し、治療に結びつけるためのシステムを作るため、性感染症に関する特定性感染症予防指針の推進に関する研究班(班長:東京慈恵会医科大学感染制御部教授 小野寺昭一)が実施しているものです。この調査結果は、厚生労働省に報告され、今後の指針を決定していく為に活用されていきます。つまりこの検査キット配布は、とても重要な社会活動のお手伝いということなのです。

みなさんが今、チャレンジしようとしている検査コーディネーターは、他人からしてみれば、ちょっとお節々な存在なのかもしれません。なぜなら普段から、友達や恋人とでもあまり話さない“セックス”や“性感染症”について、大勢の人の前で話しかけられるんですから。性感染症だなんて疑いを持ってもないのに、突然「検査受けませんか?」と勧められるのです。

でも、恥ずかしがらないでください。

この無料検査キット配布は、他人の健康を守るための素晴らしい活動です。多くの若者は、クラミジアという病気について、自分とどう関わりがあるのかを知ります。そして、自分のカラダを知る機会を「初めて」得るのです。見ず知らずの若者の未来を守る活動をしているのです。

自信を持って、そして責任を持って毅然とした態度で、そしてフレンドリーに話してみましょ。

2.検査キット配布のすべて

ここからは、具体的に無料検査キットを配布するために必要な事前準備から、当日の運営、イベント後の片付けまでを説明していきます。

(1)～(4)までの時系列にそって、検査キット配布活動を行っていきましょう!



事前準備から配布終了までの、タスク一覧です。それぞれのタスクについて、どんなことをしなければいけないのかを、次のページから具体的に見ていきましょう。

事前

- 物品の準備(必要に応じて買出し)
- スタッフ集め
- 搬入、搬出方法の決定
- スタッフ事前最終確認の連絡取り

当日

- 当日集合、朝礼の実施
ブース設置
- いざ、検査キット配布!
(スタッフ交代制、休憩を適度にとりつつ)
- 片付け、反省会



2.検査キット配布のすべて

1 当日までの準備

2 当日、会場での準備

3 さあ、配ってみよう

4 イベント終了後の後片付け

当日までの準備

以下のチェックリストを利用し、事前準備ができているかを確認しよう。

スタッフ集め

事前にグループメンバーのスケジュールを把握し、イベント当日に何人、いつからいつまで参加可能かを把握しましょう。

ポイント:最低3名のスタッフは必要です!

搬入方法の決定

検査キット配布のための物品を会場まで「誰が」「どこから」「どのように」運ぶのか、決定しましょう。搬入のために事前に集まるメンバーには、イベント会場での集合時間ではなく、荷物を運び出す場所での集合時間をしっかりと伝えましょう。

ポイント:搬入には、思った以上に時間がかかる場合が多いので、ゆとりをもった時間設定をしましょう。

スタッフ事前最終確認の連絡取り

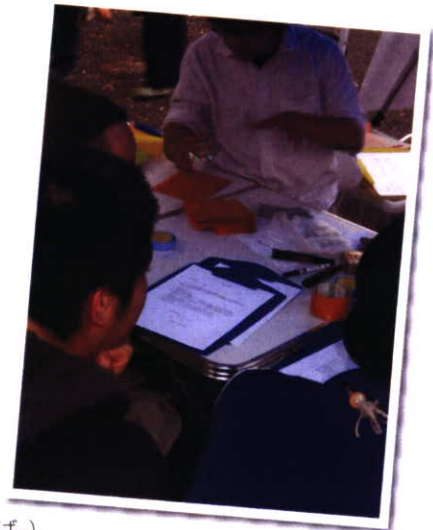
当日参加可能なメンバーには、①集合場所、②集合時間、③ハンコ持参の最終確認メールを送りましょう!

ポイント:時間厳守、ハンコ必ず持参を意識付けましょう!

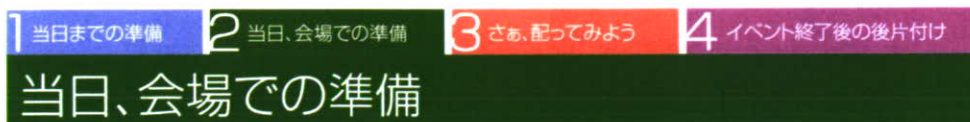
物品の準備(必要に応じて買出し)

- 検査キット(女子用を多めに準備しましょう。)
- 同意書
- ボールペン
- バインダー(同意書をはさんで、書いてもらうため。)
- ※120円切手、スポンジ
- ※つり銭、金庫(120円切手販売時の金銭管理のため。)
- 小さいダンボール(2)(記入済みの同意書を男女性別に分けて入れるための箱)
- 検査フロー(大2、小8)
(大きいものは、看板に。小さいものは、説明用に。)
- ※メガホン(2)(呼びかけに使うため。)
- いす、ベンチなど
- 机
- その他(フライヤー、コンドームなど配布したものがあれば。)

(※)はマストアイテムではありません。状況に応じて責任者が判断してください。



2.検査キット配布のすべて



① 朝礼をしましょう。

当日参加するメンバーが集まり次第、場所を見つけ、朝礼を行いましょう。
以下のことを行ってください。

■自己紹介

互いに知らないメンバーがいるかもしれません。簡単な自己紹介をし、活動をしやすい雰囲気作りをしていきましょう。もし全員が顔見知りのメンバーでも、意気込みなどを一人一人に話してもらおうといいかもしれません。

※新人は緊張しがちです！先輩コーディネーターが積極的にフォローしてください。

■役割分担

検査キット配布には、以下3つの役割の人が必要になってきます。まずは検査キット配布スタート時につくスタッフの役割を決定しましょう。

■現場責任者

ブース全体を常にながめ、スタッフ全員の動きに気を配り、何かあったときに素早く対応する役割の人です。スタッフのシフト(交代、休憩)やお金についてしっかりと管理する役割も担います。1名です。

■説明役

ブースにはりつき、検査を希望する方に検査の仕方などを説明する役割の人です。同意書を書いてもらったり、検査結果発表開始の日時を確認してもらったりする大事な役割を担っています。

■声出し役

すべての人がブースで立ち止まってくれるわけではありません。検査希望者を1人でも多く見つけるため、イベント来場者に「検査を試してみませんか?」と声をかける役割の人です。

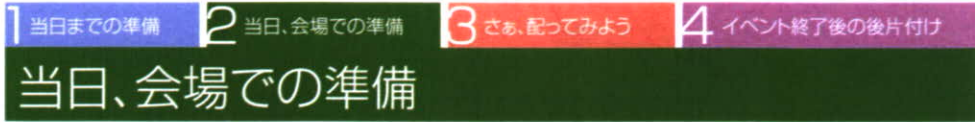
ポイント：全体として、声出し部隊（特にお祭りタイプ）を多めに配置するのがコツ！

■ルールの確認

無料検査キット配布において、必ず守りたいルールを確認します。こちらからお願いするルールは6つです。自分たちで足していただいても、全く問題はありません。

1. プライベートな情報は無理に聞き出さない。
2. 相手の意見を否定しない。
3. 不快な話を強要しない。-性やsexやコンドームという単語自体が人に不快感を与える可能性があることを忘れずに
4. 曖昧な知識は伝えない。わからないことがあったら、わかる人に代わりに説明してもらいましょう。
5. 無理やり、配布物を渡さない。
6. 楽しくコミュニケーションをとりましょう!!明るく元気に。

2.検査キット配布のすべて



② ブースを設置しましょう。

ブースの作り方



パンフレットなどの配布物や説明のためのチャート図、検査のための同意書などを机の上に使いやすいように並べます。
ペンなどもきちんと位置を決めておくことで、紛失防止になります。



たくさんの方が出入りするブース内では、整理整頓を常に心がけて、説明するときに探し物で時間をとられないようにしましょう。

2.検査キット配布のすべて



ここからは、現場責任者、声出し役、説明役に分けて、具体的にやるべきことを説明します。自分の担当の仕事の把握するのはもちろんのこと、他の役の仕事内容も確認しておく、ブース全体が把握でき、なおよいでしょう。

現場責任者

■ 現場責任者の役割

ブース全体を常にながめ、スタッフ全員の動きに気を配り、何かあったときに素早く対応する役割の人です。

■ 具体的な仕事

● 朝礼、反省会での進行役

このハンドブックにも書いてありますが、検査キットを配布するときは、必ず朝礼と反省会を行います。それぞれの会の進行役を勤め、話さなければいけない内容を話し合えるよう、指揮をとっていきましょう。

● スタッフのシフト決め、休憩への送り出し

朝礼のときに、声出し役と説明役を決めますが、ずっと同じポジションで長時間活動するのは、スタッフに負担がかかります。時間をみながら、ポジションを交代していったり、うまく休憩をまわしていったりして、スタッフのケアを行きましょう。

● 物品の調達、整理

物品(特に、検査キット、同意書)に不足はないかを確認しましょう。場合によっては、途中でものが切れる可能性があるからです。物品をしっかりと補充し、ブース全体の流れが止まらないようにこころがけましょう。

● 全体の動きの把握

ブースの作り方が、お客さんを呼びにくくないだろうか。声出しのスタッフの配置は、ここでいいだろうか。スタッフの配分の仕方はおかしくないだろうか。など、より多くの来場者に興味をもって説明を聞いてもらえるよう、そして、スタッフ自身が気持ちよく活動できるよう、改善できる点がないかを、常に考え、工夫していきましょう。

2.検査キット配布のすべて



🗣️ 声出し役

■ 声出し役の役割

テントの前で声を出し、より多くの人をつかまえ、説明役の人に引き継ぐのが仕事です。どれだけ興味をもってもらえるかが、ポイントになってきます。

声出し役の中でも、うまく役割分担をしながら、声をかけていきましょう!

それぞれの性格をいかしたやり方を見つけていきましょう。

🗣️ 声出し部隊 心に響くくどき文句集

- クラミジアにかかっている人で、男子20%、女子80%が気づかない。
- 放っておくと女性では最悪、妊娠不妊症になるんです! 将来自分の愛する人と子供がつかれないなんてことになったら悲しいじゃないですか? 5年~10年先の自分のために検査を受けてみませんか?
- 病院だと4~5千円もする検査が! 今日からなんと! なんと無料で受けられる! しかも結果は携帯で分かっちゃうんです!!
- クラミジアって私たちくらいの年の14人に1人がかかっているって知ってました?
- とりあえず持つって! 提出するかどうかは後で考えてくれたら良いから!

※複数に声をかけた場合、興味はあるけど恥ずかしいと感じた場合。

- もし陰性だった場合でも、それはきちんとした結果として大切にされ、それはそれできちんと厚生労働省の研究の結果として有効に活用されるので、決して検査することは無駄にはならない。
- クラミジアって知ってますか? 今日本で一番増えている性感染症で、放っておくと不妊症になってしまうこともあるんです。自覚症状もあまりないし、なかなか保健所とかいって検査うけないですよ? なんか場所が場所だし。だからこれを機会にうけてみませんか? (検査の説明~これなら家で1人でできて、携帯で検査結果がみられるんですよ!)
- クラミジアになると、3~5倍HIVにかかりやすいんですよ!
- 性感染症ってすごい遠い世界のように聞こえますけど、そんなことないんです。30人のクラスなら2人の人がかかっているという計算になるんですよ。これは世界の中でも、トップクラスの数値なんです。だから遊んだからなるとか、そういうものではないんです。

~25歳以下の方ではなかった場合~

丁寧にお断りをしましょう。

【例】

- 厚生労働省の研究で若年層を対象とした研究ですので、25歳以下にしているんです。申し訳ありません。
- 検査は保健所で無料でうけられるので、ぜひ行って検査を受けてみてください。
<フライヤーとコンドームを渡す。>

2.検査キット配布のすべて



説明役

説明役の役割

説明役の人は、ブースに張り付き、声出し役の人がひっぱってきた人に、検査に関する説明を以下の流れにそって説明し、検査キットを渡すことが仕事です。

具体的な説明方法

① キットを渡し、中身を確認してもらいます。IDカードには、検体に貼るためのIDシールがついているので、IDシールを検体に貼ってから郵送してもらうよう伝えましょう。

《キットの中身》 男子用…IDカード、検尿カップ、黄色いキャップの試験管、小さな説明書、アンケート(計5点)
女子用…IDカード、綿棒、ピンク色の紙(説明書)、アンケート(計4点)

② 同意書に日付と名前を書いてもらいます。

例「この検査は、厚生労働省の研究の一環です。(同意説明書、同意書を見せ)こちらが検査を受けていただくための同意書です。一度読んでいただいて、日付と署名を書いてください。」

※日付と署名は、必ず書いてもらいましょう!

※プライバシー保護という点で、名前を書きたくないという方には、偽名でもいいので、男・女がある程度分かるような名前を書いてください、と伝えましょう。

③ 検査フローを使い、結果を確認するまでの流れを説明します。

結果を確認するまでの流れは以下です。検査フローは、次のページに載っています。

(1) 自宅に検査キットを持ち帰ります。そして、男性は尿を、女性は膣分泌液を採取します。

※男性の場合は、寝起き1番の尿を採取してもらうようお願いします。

※女性の場合は、検査キットを使い、膣の中の膣分泌液の採取をお願いします。生理中は避けてください。

(具体的には、検査キットの中の説明書に書いてあります。)

(2) 検体を封筒に入れ、ポストに投函します。120円切手が必要です。

※提出締め切りを確認します。 男性の締め切り…イベント当日から1週間後まで

女性の締め切り…イベント当日から2週間後まで

(3) 検査結果を、携帯で確認します。IDカードにアクセスするサイト情報とIDが載っています。

※結果を見れるのは、イベント当日の1ヵ月後から1ヶ月間です。

検査結果を見れる期間を、IDカードに確認してもらいましょう。

(4) 陽性の場合…病院に行きましょう!サイトにも病院の情報が載っています。

陰性の場合…陰性であっても…Safer SEXを必ず心がけるようにしましょう。

④ 切手を販売する。(任意購入)

検査キットを、郵送するときには120円切手が必要になります。家にない場合などは、120円切手をブースでも売っていることを伝える。回収率をアップさせるためにも、ここで切手を買ってもらうことは、とても大切です。

2.検査キット配布のすべて

1 当日までの準備

2 当日、会場での準備

3 さあ、配ってみよう

4 イベント終了後の後片付け

さあ、配ってみよう!

検査フロー

先輩検査コーディネーターは、こんなのを作りました。
みんなも分かりやすいフローチャートを作ってみてもいいかも。



先輩コーディネーターの説明がYouTube(動画)で見れるよ!
<http://jp.youtube.com/watch?v=3c4sL-6juTU>

2.検査キット配布のすべて

1 当日までの準備 2 当日、会場での準備 3 さあ、配ってみよう 4 イベント終了後の後片付け

さあ、配ってみよう!

👤 今まで受けた不快な経験

理解のある人ばかりではありません。検査キット配布中に、不快な言葉をあびせられたり、いやな事をされたりすることがあるかもしれません。決してみなさんを怖がらせたいわけではありません。どんなことが起こりうるのかを想定してもらい、心構えをもってもらうためのページです。

《体験談》

これまでに検査キットを配布した検査コーディネーターが経験しました。

- ☹️ 怪しまれる。
- ☹️ 無視される。
- ☹️ セックスに誘われる。(特に女子コーディネーター)
- ☹️ カップルがケンカを始める。
- ☹️ 酔っ払いに絡まれる。
- ☹️ いつの間にかナンパになっている
→話が3分以上続くようなら切り上げましょう。
- ☹️ 中傷される。例:「お前、エロいの?笑」など
- ☹️ 俺(私)がクラミジアにかかってそうって言いたいのか?失礼じゃない?

- ※どんなときでも、毅然とし、誠実な対応をしましょう。
- ※しつこい場合には、助けを求めて、もちろんOKです。
- ※共通の「助けてサイン」を決めるのも良いでしょう。その時はさりげなくコーディネーターどうして、呼んであげましょう。



スタッフとしての心構え

時間を厳守しましょう。

基本中の基本ですね。1人が遅れることによって、みんなが迷惑を被ります。
ブースの設置や配布時間の開始時間が、どんどんと遅れる可能性もあります
ので、しっかりと時間を守りましょう。

守秘義務を守りましょう。

ブース内で、あるいはブースの周辺でお客さんとお話したことは、他の人には
伝えないというルールを押さえておきましょう。

相手を尊重しましょう。

私たちは、この社会の中で、いろいろな立場の人といっしょに過ごしています。
例えば、ゲイ・レズビアンといった同性愛者の方、障がい者の方、HIV陽性者
の方などが、ブースにいらっしゃるかもしれない、ということも頭に入れてお
きましょう。そして、相手の意見を否定するのではなく、尊重しましょう。

厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）
性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究

性の健康相談室を通じた性感染症の蔓延防止に関する研究
分担研究者 松田 静治 （財）性の健康医学財団 理事長

研究要旨

1. 本研究では、1. 若い人たちにとって重要なコミュニケーション・ツールである E メールによる“性の健康メール相談”を通して、また、2. “性の健康相談室”での個別相談、検診を通して STD/HIV 感染の発見・予防啓発に努め、若年層における性感染症の蔓延防止に貢献することを目的とした。
2. “性の健康メール相談”に平成 19 年 4 月～平成 20 年 2 月の 11 か月間に寄せられた相談メールは 1,168 件で、そのうちの約 80%は携帯電話からのメールであった。相談者の性別は、男性が 42%、女性が 51%、不明 7%。また、年齢別で見ると、本メール相談の主たる利用者は 10 代後半から 20 代前半で、特に 15-19 歳の年齢層が男女ともに一番多かった。また、若年層に有効な性感染症の予防啓発策を見出すために相談メールの内容を分析した。
3. “性の健康相談室”には平成 19 年 4 月～平成 20 年 2 月の 11 か月間に 51 人の相談者が来訪した。相談者の年齢構成、性別は、10 歳代 3 人（すべて女性）、20 歳代 22 人（男性 8/女性 14）、30 歳代 25 人（14/11）、40 歳代 1 人（男性）と、若い年齢層では女性が多く、男性の相談者は年齢が高い傾向にある。また 5 組（10 人）がパートナー・友人と一緒に訪れた。
4. “性の健康相談室”の情報を得た手段としては、インターネット（携帯サイトを含む）が顕著に多く 66%を占めている。
5. STD/HIV 感染の診断は、クラミジア抗原（陽性）が 3 人、淋菌（陽性）1 人、HPV 中～高リスク型(陽性)12 人、低リスク型(陽性)5 人の結果となった。梅毒 TPHA 法（+）が 2 人出たが、いずれもガラス板法（-）。その他 HIV、HSV、HBV、HCV の感染はなかった。なお、低リスク型 HPV 陽性者 5 人は、内診の結果、尖型コンジローマと診断された。

研究協力者

小島 弘敬（東京都南新宿検査・相談室）
堀口 貞夫（主婦会館クリニック）

の悩み相談を通しての STD/HIV 感染予防・普及啓発、
また、2. “性の健康相談室”での個別面接相談、検診を通して STD/HIV 感染の早期発見・予防啓発に努め、感染者には医療機関の受診・早期治療を勧奨し、若年層における性感染症の蔓延防止に貢献することを目的とした。

A. 研究目的

本研究では、1. 性的活動が活発な若い人たちにとって今や必要不可欠なコミュニケーション・ツールとなった E メールによる“性の健康メール相談”での性

B. 対象・方法

1. Eメールによる“性の健康メール相談”

インターネット・ホームページ(携帯サイトを含む)上の専用フォームより相談メールを募集し、相談回答にあたった。対象は不特定である。

2. “性の健康相談室”での個別相談、検診

インターネットのホームページ(携帯サイトを含む)での募集、保健所等に紹介カード、パンフレットを配布するなど公告して相談・検診者を募集した。対象は原則 39 歳以下。電話による完全予約制をとり、相談者同士が顔を合わせないようにプライバシーに配慮した無料・匿名での STD の相談・検診である。募集に応じて来訪した相談者に、質問紙に回答してもらい性行動等に関する調査を行い、検診に先立って担当医が検査について説明し同意を得た上で、内診、検査を実施し、併せて STD/HIV 感染の予防啓発も行った。

検査項目と検査法は表 1 のとおりである。

C. 研究結果

1. Eメールによる“性の健康メール相談”

2007 年 4 月から 2008 年 2 月 29 日までに「性の健康メール相談」に寄せられた相談メールは 1,168 件であった。月別の相談件数を図 1 に示した。相談メール件数は 4~8 月に多く、一番多い 8 月は 139 件のメールがあった。相談メールの利用状況を曜日別(図 2)、時間別(図 3)にみると、日曜日~火曜日および木曜日、また夕方~深夜の時間帯の利用が多かった。また、相談者のメールは、79%が携帯からの送信であり(図 4 参照)、若者にとって気軽に利用しやすい身近なツールであることがわかる。

相談者の性別構成を図 5 に示した。相談件数のうち、男性からの相談が 487 件(42%)、女性からの相談が 604 件(52%)、性別不明が 77 件(6%)で、女性の利用者が半数以上を占めていた。相談者の年齢は 12 歳から 77 歳までと幅広く、平均年齢は全体では 22.8 歳であった。なお、性別では男性 24.0 歳、女性 21.9 歳であり、男性の方が年齢が高い傾向にあった。(図 6 参

照)。いずれにしても、相談者の年齢をみると、10 代後半から 20 代半ばまでが本メール相談の主たる利用者であるといえる。

用意したコーディング表をもとに、相談件数を集計したものが表 2 である。相談内容は 1 件の相談メールでも多岐に渡ることが多いため、複数該当になっている。

男女ともに多いのは「自覚症状」、「検査法・治療法」、「セックス」、「妊娠・不妊・不感症」に関する相談であった。やはり何らかの自覚症状があると不安になり、いろいろと情報を収集し、このメール相談にたどり着き、メールを送ってくると思われる。

男性で多い相談内容は、「性器」、「精液・射精・早漏」、「HIV 感染症/AIDS」であった。

一方、女性で多い相談内容は「おりもの」、「生理・排卵」、「不正出血」などであった。

STD の疾患では「クラミジア」に関する相談メールが多かった。

メールに返信するにあたり、STD/HIV 感染の予防啓発を推進する一方で、避妊や月経・排卵についての正しい知識を広く提供していく必要があることも実感した。

2. “性の健康相談室”での個別相談、検診

平成 19 年 4 月~平成 20 年 2 月の 11 か月間に 51 人の相談者が来訪した。その年齢構成、性別は、10 歳代 3 人(すべて女性)、20 歳代 22 人(男性 8/女性 14)、30 歳代 25 人(14/11)、40 歳代 1 人(男性)と、10 代~20 代の若い年齢層は女性の割合が高く、男性は年齢が高い傾向にあった(図 7、8 参照)。また、カップルで 5 組(10 人)が来訪した。

来訪者の平均初交年齢は男女ともに 19 歳であった。(図 9 参照)。

また、この健康相談室を知った手段については携帯サイトも含めたインターネットのホームページが 66%、友人・パートナーからの紹介が 20%を占めた(図 10 参照)。

性感染症の検査結果については、クラミジア病原体検出は女性 11%で、男性の感染者はいなかった。

(図 11 参照)。淋菌感染が 1 名で、クラミジアとの重複感染であった。その他梅毒、HSV1 型・2 型、HBS、HIV、HCV については感染者がいなかった。

また、クラミジア IgA 抗体 (+) / IgG 抗体 (+) 5 人、(+)/(±) 1 人、(+)/(-) 1 人、(±)/(-) 1 人、(-)/(+) 6 人、(-)/(-) 37 人 (図 12 参照)。HPV 中～高リスク(陽性)12 人、低リスク(陽性)5 人の結果となった (図 13、14 参照)。

D. 考察

1. E メールによる“性の健康メール相談”

性の健康メール相談に寄せられる相談内容をみると、性行為の開始が年々低年齢化している一方で、性行為に伴う病気や妊娠のリスクや、その予防のためのコンドーム使用に関する教育が十分に行き届いていない性教育の現状に行き当たる。学校の性教育担当者が現場で難しい立場に置かれていることは否定できないが、若者に対する STD/HIV 予防啓発を今後進めていくには、他人事ではなく自分自身の大事な問題として考えられるように、より具体的な予防法など、積極的な性教育が望まれる。

2. “性の健康相談室”での個別相談、検診

STD/HIV 感染の相談・検診という特異性は如何ともし難く、なかなか相談・検診者の増加が見込めない。インターネットや携帯電話サイトの有害情報は確かに多いが、若い人たちが今やインターネットや携帯電話をマストのツールとし、自分の一番身近な情報取得ツールとしているからには、それを有効に利用しない手はない。イラストや若者ことばの使用等若い人たちが関心をもつようなインターネットサイトを構築、活用して相談・検診者を募集し、もっと気軽に性感染症の相談・検診ができる場を提供し、若年層の性感染症蔓延を防止する一助としていきたい。また、1 人ではなくカップルでの受診が増えれば、ピンポン感染を防止できるし、より効率的な感染の発見・治療・予防啓発

に直結し、性感染症の蔓延防止策として有効であろう。

性感染症という疾患の重大性や、専門医による匿名、無料の相談・検診の機会の提供を、若い人たちをターゲットにインターネットや口コミでアピールし、その蔓延防止のために今後も継続的に予防啓発していく必要がある。

E. 結論

以上の研究結果から、若年層における効果的な性感染症の蔓延防止策として、携帯サイトを中心としたインターネットの活用が有効であると考えられる。

また、1 人ではなくカップルでの相談・検診を推進すれば、より効果的な蔓延防止策となり得る。

性感染症の発生動向については、性器クラミジア感染症は 2002 年をピークにして歯止めがかかったといわれているが、本研究結果でも昨年度と比較すると減少している。その一方で、尖型コンジローマが増加傾向にある。

F. 発表 (原著論文、総説、学会発表)

文献

- 1) 松田静治：わが国における性感染症の動向、臨床と研究, 84 (5), 1-6, 2007.
- 2) 松田静治：近年の性感染症事情, クリニカルプラクティス, 26 (4), 60-66, 2007.
- 3) 松田静治：性感染症, 産婦人科の世界, 59 (4), 107-116, 2007.
- 4) 松田静治：細菌性性感染症, 小児科, 48 (5), 533-538, 2007.

学会発表など

- 1) 松田静治, 市瀬正之, 小林重高：東京地区におけるクラミジア・トラコマチスおよび淋菌の検査成績, 日本性感染症学会第 20 回学術大会, 平成 19 年 12 月 1 日.
- 2) 松田静治：性感染症と月経トラブルからの解放に向けて, 第 59 回日本産科婦人科学会市民公開講座の司会, 平成 19 年 4 月 13 日 (於: 京都).

図1 月別相談件数

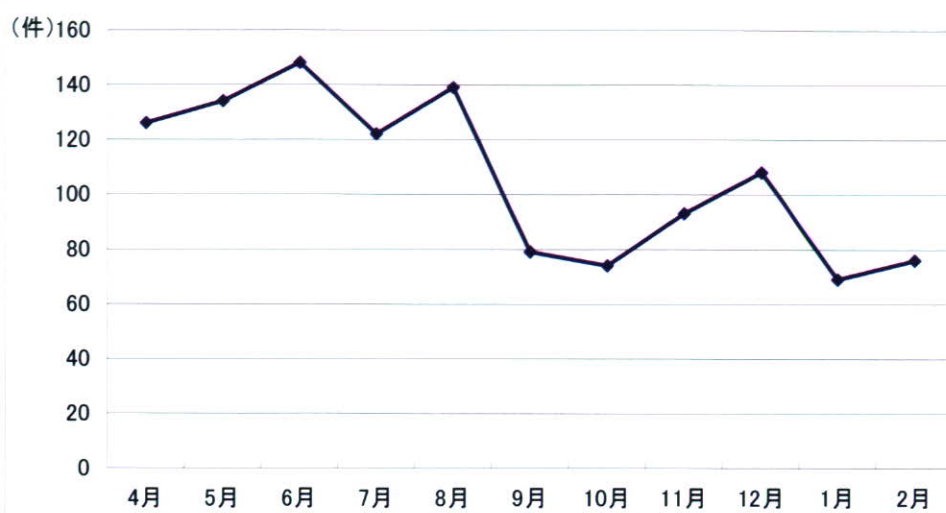


図2 曜日別件数

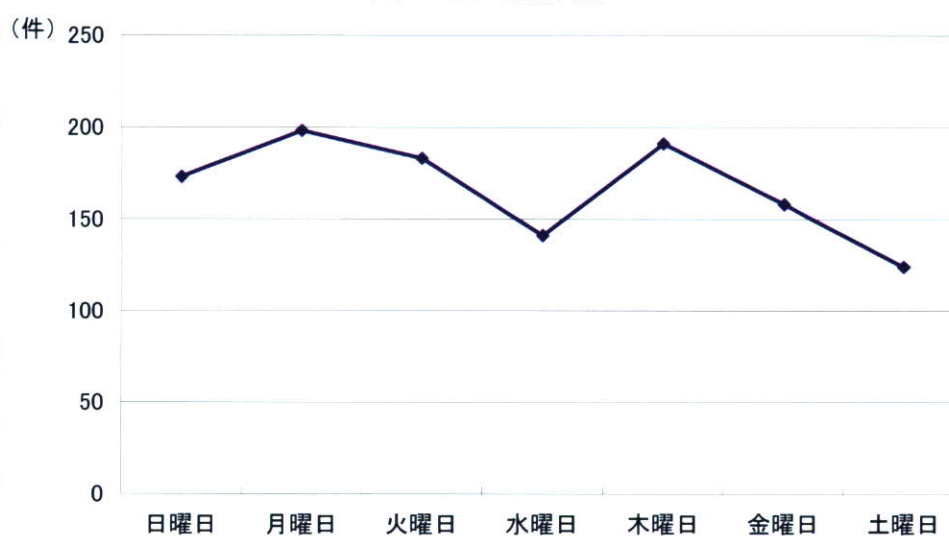


図3 受信時刻別件数

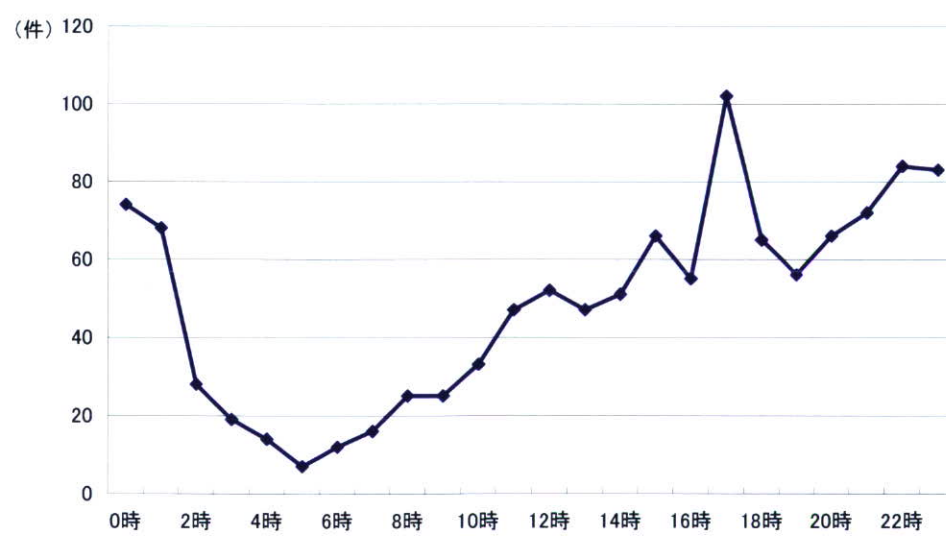


図4 相談者のメールキャリア

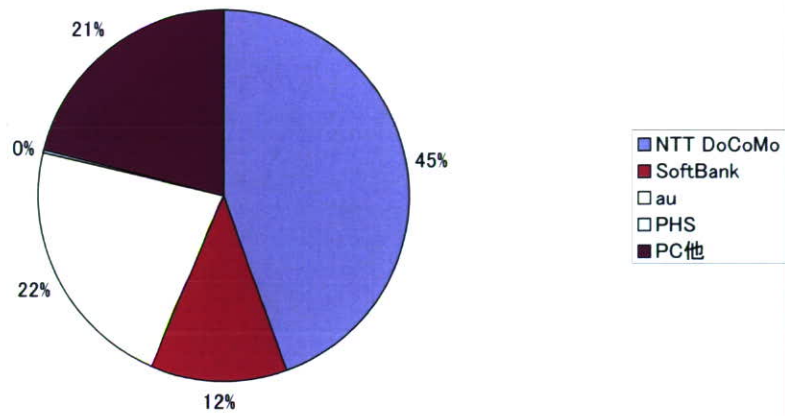


図5 性別

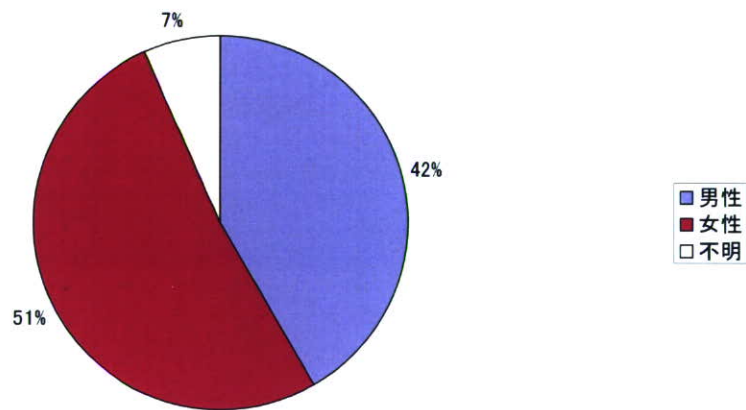


図6 男女別年齢構成

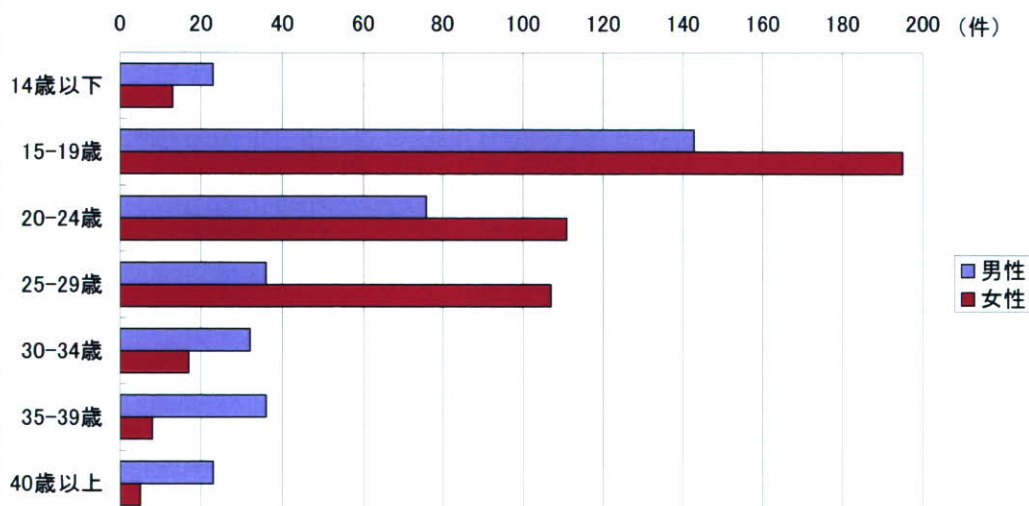


図7 男女別年齢構成

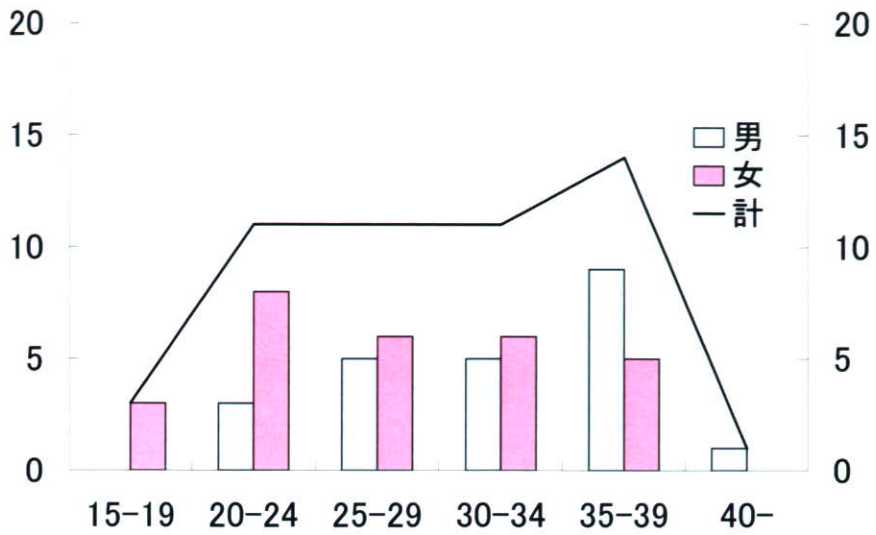


図8 男女比(N=51)

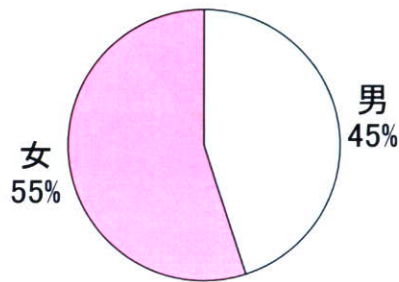


図9 初交年齢

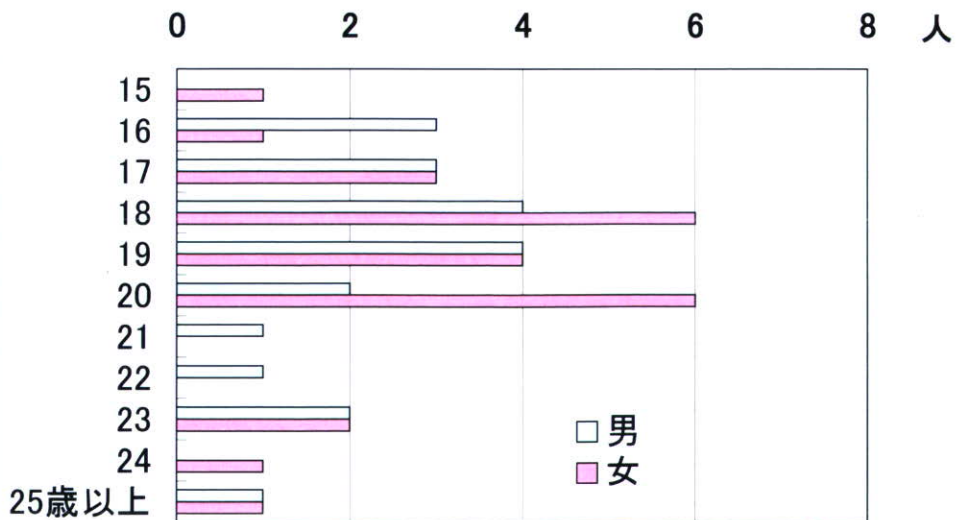


図10 情報取得手段(N=51)

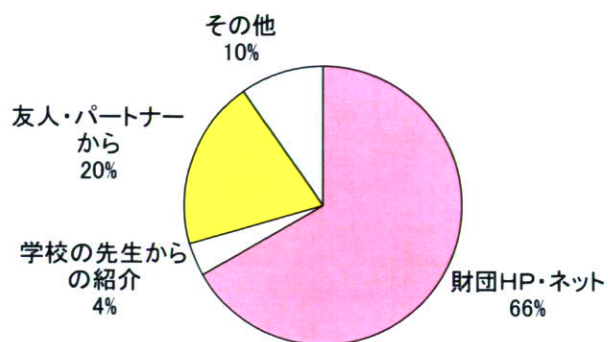


図11 クラミジア抗原(女N=27)

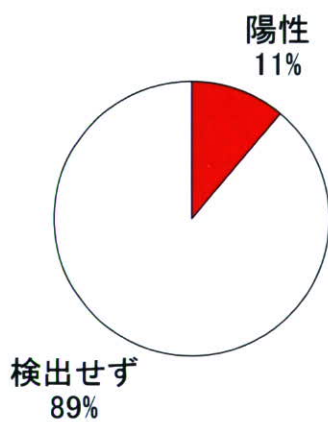


図12 クラミジア抗体(全体N=51)

